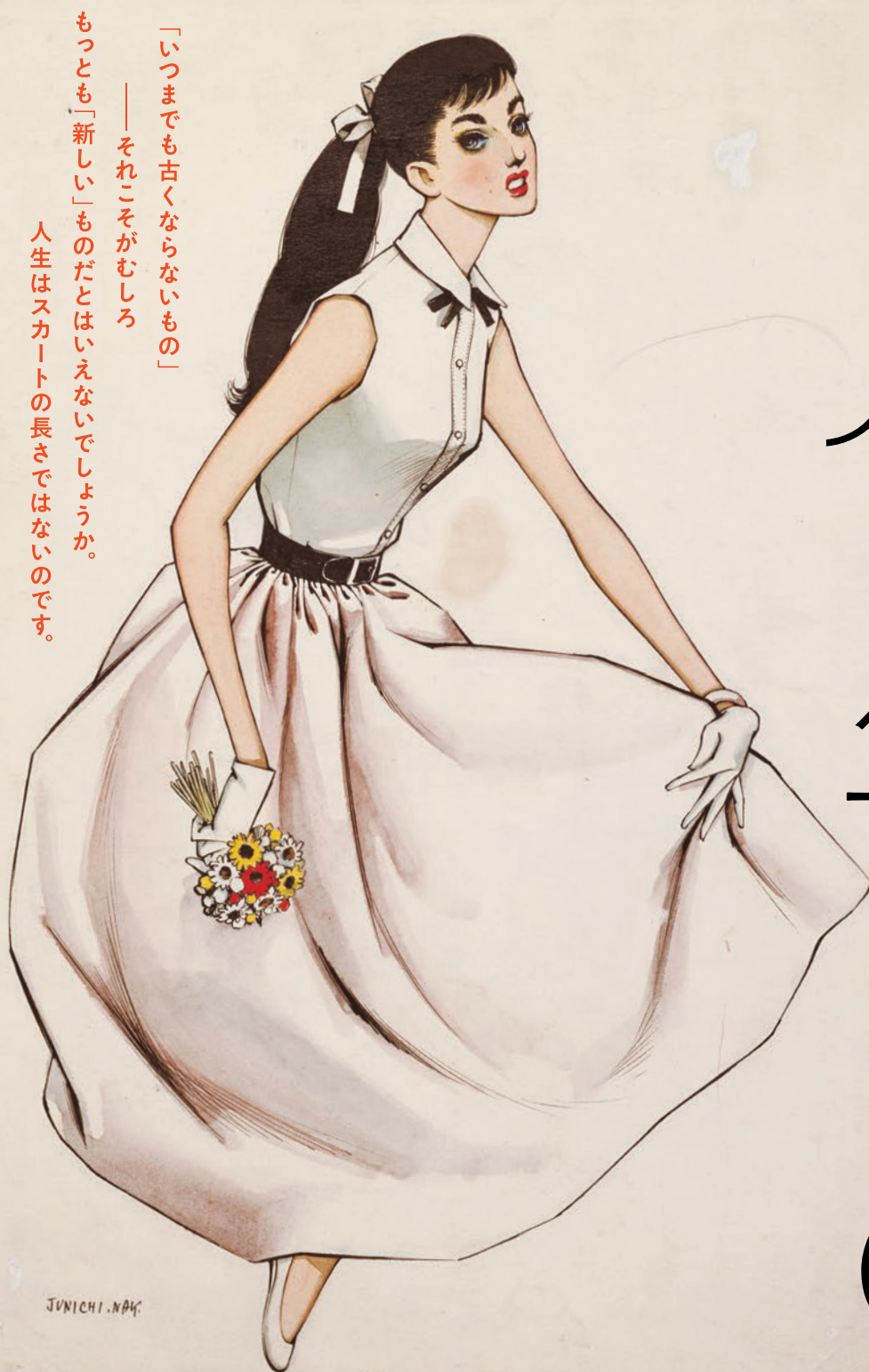


中原淳一展

111年目の



「いつまでも古くならないもの」
—— それこそがむしろ
もっとも「新しい」ものではないでしょうか。
人生はスカートの長さではないのです。

屏絵原画『中原淳一ブラウス集』 1955年 個人蔵 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

2023年11月18日(土)ー2024年1月10日(水)

【開館時間】午前10時～午後8時(入館は閉館の30分前まで)

※12月31日(日)、1月1日(月・祝)は午後6時閉館。 ※そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。

【入館料(税込)】一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,200(1,000)円、中学生以下無料

※()内は、前売および以下をご提示の方の料金です。[クラブ・オン/ミレニウムカード、クラブ・オン/ミレニウムアプリ]

※障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者1名までは無料でご入館いただけます。

※前売券は、2023年11月17日(金)までそごう美術館、公式オンラインチケットまたはセブンチケット、ローソンチケット、イープラス、チケットぴあにてお取り扱いしております。

【主催】そごう美術館、朝日新聞社、神奈川新聞社 【後援】神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

【協力・監修】ひまわりや 【企画協力】島根県立石見美術館 【協賛】そごう・西武

そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店6階]

郵便番号220-8510 横浜市区高島2-18-1 電話045(465)5515〈美術館直通〉
Twitter: @sogomuseum <https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>



※ご入館前にそごう美術館ホームページおよび会場入口掲示の「ご入館の際のお願い」をご確認ください。

※展覧会・イベントの中止や延期、一部内容が変更になる場合がございます。 ※最新情報は、そごう横浜店・そごう美術館ホームページをご確認ください。

会期中無休
事前予約不要


SOGO
横浜

電話 045(465)2111 大代表
www.sogo-gogo.com

中原淳一展

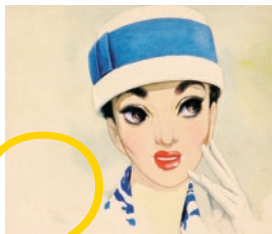
111年目の

終戦からちょうど一年後の1946年8月15日、中原淳一（1913-1983）は自身が編集長を務める『それいゆ』を創刊すると、ファッション、インテリア、雑誌編集、イラストレーションなどの領域を大きく超えたマルチクリエイターと呼ぶべき多彩な活躍を果たしました。

人々は夢も希望も忘れ、未来や幸福について考えるより、生きること必死な時代でした。「再び人々が夢と希望を持って、美しい暮らしを志せる本をつくりたい」と、中原が見えない未来に光を灯すような思いで手がけた仕事の数々は、女性たちの圧倒的な支持を得て、後生のクリエイターにも大きな影響を与えています。

中原の生誕111周年を記念する本展では、『それいゆ』、『ひまわり』、『ジュニアそれいゆ』、『女の部屋』などの雑誌での仕事のほか、アーティストとして生み出した絵画や人形などの作品を通じて、中原の多彩なクリエイションの全貌を紹介します。色褪せることなく輝き続けるその魅力をご堪能ください。

左：表紙原画（『それいゆ』第39号 6月号） 1956年
中：《SOLEIL PATTERN》（『それいゆ』第25号口絵原画） 1953年
右：《COLOUR and COLOUR》（『女の部屋』第1号原画） 1970年



1

戦前に発行されていた雑誌『少女の友』で中原の挿絵画家としての活躍が始まりました。西洋的で、大きな瞳と細長い手足をもった中原の「新しい少女」像は、現代のアイドルのように熱狂的に支持されました。そのエッセンスは、後の少女漫画に大きな影響を与えています。

「新しい」少女のために



《女学生服装帖》
（『少女の友』第32巻第9号原画）
1939年



「ファッションブック」
（『少女の友』第30巻第8号付録） 1937年

「美しい暮らし」のために

ファッション、美容からインテリア、手芸、文学、音楽、美術に至るまで。美の本質を求めた中原の思いを雑誌『それいゆ』での仕事を中心に紹介します。表紙画やスタイル画の美しさはもちろん、斬新なページレイアウトや鋭い視点のメッセージが、今また新鮮に目を奪います。

ほんとうの 美しさとは、 豊かさとは、 何なのか。

平和の時代の 少女のために

3

戦争によって少女時代を奪われた女性たちのため、中原は1947年に雑誌『ひまわり』を創刊します。「よき女性の人生は、よき少女時代を送った人に与えられるのではないかと情熱をもって作られた雑誌が、新しい時代の少女たちに夢を与えていました。



「ひまわり夏休み手帖」
（『ひまわり』第4巻
第8号付録）
1950年



表紙原画（『ジュニアそれいゆ』第6号） 1955年



《花の伝説 カーネーション》
（『ひまわり』第2巻第9号原画） 1948年

4

中原淳一の 原点と人形制作

中原は少年時代、絵と読書、そして人形作りに強い関心をもっていました。10代のころにつくられた詩画集や油絵、デビューのきっかけとなった人形作品など、アーティスト・中原淳一の創作も紹介していきます。



人形 1967年

「子供は大人のおさがりばかりで楽しく暮らす」
（『それいゆ』第16号原画） 1951年

《パッチワークのフレスカート》 1955年
撮影：岡田昌雄
ディレクション：Gottingham

※掲載作品は全て個人蔵

中原淳一 JUNICHI NAKAHARA

- 1913年 香川県生まれ
- 1926年 上京
- 1930年 上野広小路の高級洋品店のデザイナーに抜擢される
- 1932年 創作人形の個展開催
- 1935年 『少女の友』の表紙絵を描く（以降1940年まで66回表紙絵を担当）
- 1939年 ヒマワリ社の前身となる洋飾雑貨と洋裁の店「ヒマワリ」を開店
- 1946年 女性誌『それいゆ』を創刊
- 1947年 月刊誌『ひまわり』を創刊
- 1954年 『ジュニアそれいゆ』を創刊
- 1970年 『女の部屋』を創刊
- 1975年 『中原淳一画集』を刊行

■関連イベント

クラシック・ヨコハマ 2023 ミュージアムコンサート

横浜ゆかりの演奏家たちが、中原淳一展にちなんだ曲などを演奏します。

2023年12月9日（土）午後2時～午後2時45分

出演者＝横浜市民広間演奏会／金子 都（バイオリン）、
殿岡 芽依（ファゴット）、鈴木 南（クラリネット）、北村 真紀子（ピアノ）

曲目＝愛の讃歌 ほか 場所＝そごう美術館展示室内

参加費＝無料 ※別途観覧会入館料が必要です。

*イベントの日時・内容等に変更が生じることがあります。

◎参加方法など詳細は決まり次第、そごう美術館ホームページにてご案内いたします。

■次回開催予告

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 2024年1月20日（土）～3月10日（日）